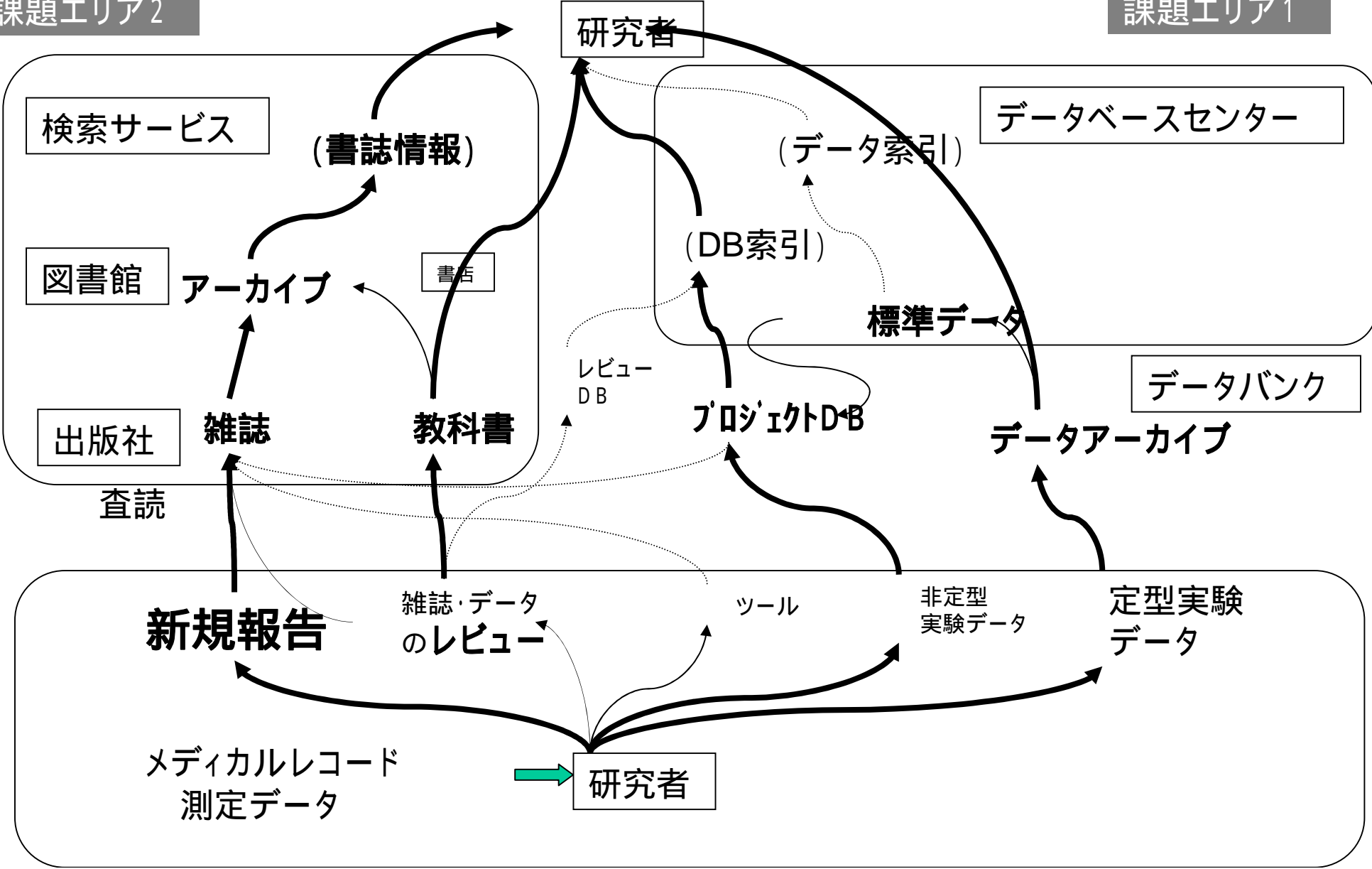


- 大目的は？
 - 我が国のライフサイエンス分野の推進
 - 世界へのサービス内容は？
- 利用者の範囲？
 - 1. ゲノム研究バイオインフォ研究の基礎知識を持つゲノム領域/DB構築者
 - 2. 生命系大学院以上の専門知識を持つ生命研究者/生命研究審査員
 - 3. 生命系学部卒業の知識を持つ行政官/特許審査官/科学ジャーナリスト
 - 4. 高校卒業程度の知識を持つ市民？
- データ・知識の範囲
 - 定型データ/プロジェクトデータ/小規模実験データ/バイオインフォツール/
 - 論文/総説/教科書/ニュース/学会抄録/政府調査報告書/科学研究報告書/
 - データ利用者の便宜を優先/国内の情報生産者を優先
- 業務の範囲
 - 標準データの作成
 - ある種の登録受付機能

情報の循環器系

課題エリア2

課題エリア1



我が国の商業科学出版社との関係議論資料

- **日本語による科学知識表現の価値**
 - 理想に反す現実に合わせるか実現できない理想に基づくか？
 - 科学の英語化が実現しない理由. 情報の劣化と循環不全
 - See Me! と願う者が努力すべきか 「知りたい」と思う者が努力すべきか
- **和文商業誌・翻訳教科書の意義について**
 - 和文科学出版の意義 / 情報の価値 信憑性
- **科学出版社の現状**
 - 科学出版社の経営は厳しく部数をかせぐために低俗化する傾向.
 - 出版技術の進歩に対応する余裕すくない. 自力での情報産業化は困難
 - 科学商業出版はなくてもいいのか？
- **商業総説誌との協力の可能性**
 - 期待大:教授・研究員 特許審査官 行政官 出版社編集者 すべて賛成
 - 三法よしの連携モデルが課題 利用者に便利で商業誌も賦活化健全化